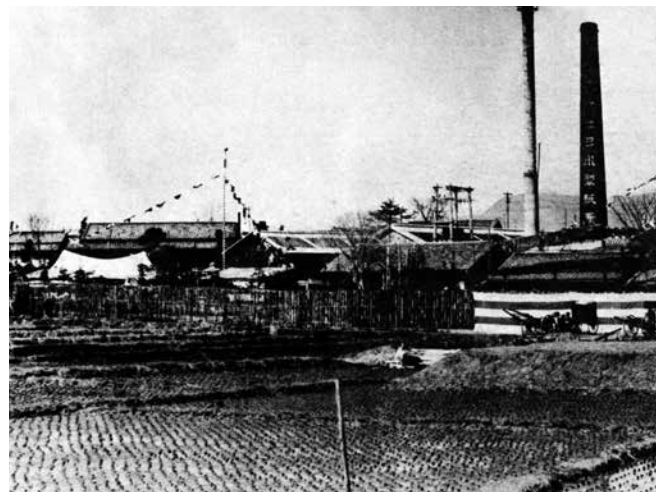


TOMOEGAWA 会社概要

会社概要

(2025 年 3 月 31 日現在)

社名	株式会社巴川コーポレーション (通称:TOMOEGAWA)
英文社名	TOMOEGAWA CORPORATION
創業	1914 年 (大正 3 年) 6 月 19 日
設立	1917 年 (大正 6 年) 8 月 15 日
資本金	2,122,953,550 円
上場証券取引所	東京証券取引所 (証券コード: 3878) ・市場区分: スタンダード ・業種分類: 化学
決算期	3 月 31 日
発行可能株式総数	20,000,000 株
発行済株式の総数	10,082,107 株 ※自己株式 307,299 株を除く
株主数	4,078 名
従業員数	連結 1,312 名 単体 394 名



創業当初の清水事業所 (1914 年)

事業内容

5つのセグメントを事業展開

当社グループは、抄く・塗る・貼る・砕くの技術を活かし、「トナー事業」「半導体・ディスプレイ関連事業」「機能性シート事業」「セキュリティメディア事業」の4つの事業セグメントをメインに、さまざまな事業領域に展開しています。

また、より良い未来の実現に向けて新しいビジネス価値を創造するため、「新規開発事業」の事業セグメントを設けています。



トナー事業



半導体・ディスプレイ
関連事業



機能性シート事業



セキュリティメディア
事業



新規開発事業

抄く・塗る技術を活かした戦略 「熱・電気・電磁波コントロール 材料」



5GやDXといった世の中の流れの中、電子機器の小型化、軽量化、ハイパワー化（高電圧・大電流・高周波）が求められています。このようなニーズに対応するため、当社の強みである抄紙および塗工技術を活用し、機器・部品の故障・誤作動防止に貢献する熱・電気・電磁波コントロール「iCas (アイキャス)」ブランド製品を拡充し、さまざまなソリューションを提供します。

環境関連ブランド「グリーンチップ」製品を開発、拡充



当社は、原材料や省エネルギー、CO₂の発生抑制や削減など製品製造において環境に配慮するだけでなく、製品を使用していただくことにより、衛生改善、有害化学物質対策、廃棄物削減、沿岸・海洋保全、環境に配慮した技術・産業プロセスなどの環境関連を中心にSDGsに貢献する「GREEN CHIP (グリーンチップ)」ブランド製品を開発・拡充します。

※ iCas、GREEN CHIP、グリーンチップは株式会社巴川コーポレーションの登録商標です。

目次

マネジメント

特集

経営情報

- ▶ TOMOEGAWA 会社概要
- ▶ TOMOEGAWAの役員体制
- ▶ TOMOEGAWAの沿革
- ▶ データサマリー

E 環境

S 社会

G ガバナンス

その他

TOMOEGAWA 会社概要

目次

マネジメント

特集

経営情報

- ▶ TOMOEGAWA 会社概要
- ▶ TOMOEGAWAの役員体制
- ▶ TOMOEGAWA の沿革
- ▶ データサマリー

E 環境

S 社会

G ガバナンス

その他

国内拠点



海外拠点



目次

マネジメント

特集

経営情報

- ▶ TOMOEGAWA 会社概要
- ▶ TOMOEGAWAの役員体制
- ▶ TOMOEGAWA の沿革
- ▶ データサマリー

E 環境

S 社会

G ガバナンス

その他

TOMOEGAWAの役員体制

取締役

(2025年 7月 1日現在)

取締役	氏名	地位・担当	主な経歴	重要な兼務など	取締役会 出席回数	所有株式数 (2025年 3月 31日現在)
	いのうえ よしお 井上 善雄	代表取締役 社長 CEO	1987年 4月 ㈱日本興業銀行 [現 ㈱みずほ銀行] 入行 1998年 3月 当社入社 1999年 6月 当社取締役 2000年 3月 当社常務取締役 2002年 6月 当社代表取締役社長 (現任) 2003年 1月 当社 CEO (現任)	TOMOEGAWA AURA INDIA PVT.LTD. Director 昌栄印刷㈱ 取締役会長 学校法人城北学園 理事長	13回 /13回 (100%)	9,178 株
	やまぐち まさあき 山口 正明	取締役 専務執行役員 CFO 経営戦略本部長	1986年 4月 新日本製鐵㈱ [現日本製鉄㈱] 入社 2006年 7月 当社入社 2009年 4月 当社執行役員経営戦略本部長 2014年 4月 当社常務執行役員 CFO 2014年 6月 当社取締役 (現任) 2018年 1月 昌栄印刷㈱代表取締役社長 2020年 10月 当社常務執行役員 CFO 経営戦略本部長 (CFO 経営戦略本部長につき現任) 2021年 4月 当社専務執行役員 (現任)	—	12回 /13回 (92%)	3,500 株
	いのうえ ゆすけ 井上 雄介	取締役 専務執行役員 CTO iCas カンパニー長	1997年 4月 三菱商事㈱入社 2006年 4月 当社入社 2011年 5月 昌栄印刷㈱代表取締役社長 2014年 5月 当社執行役員営業推進本部長、昌栄印刷㈱代表取締役会長 2016年 4月 当社上席執行役員事業開発本部長 2017年 4月 当社常務執行役員 CTO (CTO につき現任) 2017年 6月 当社取締役 (現任) 2020年 4月 当社 iCasカンパニー長 兼 開発本部長 (iCasカンパニー長につき現任) 2022年 4月 当社専務執行役員 (現任)	三和紙工㈱ 取締役会長 ㈱ NichiRica 取締役会長	13回 /13回 (100%)	108,300 株
	はやし りゅういち 林 隆一	取締役 社長補佐	1987年 2月 デュポンジャパンリミテッド [現デュポンジャパン㈱] 入社 2014年 9月 デュポン㈱ [現デュポンジャパン㈱] 常務執行役員技術開発本部本部長 2016年 6月 当社顧問 2017年 6月 当社社外取締役 2019年 6月 当社取締役画像材料事業部管掌 兼 事業部開発管掌 2020年 4月 当社取締役常務執行役員パウダーテクノロジーカンパニー長 2023年 4月 当社取締役専務執行役員パウダーテクノロジーカンパニー長 2024年 4月 当社取締役社長補佐 (現任)	国立大学法人広島大学 特任教授	13回 /13回 (100%)	4,400 株
	えんどう じん 遠藤 仁	社外取締役 社外 独立	1984年 4月 凸版印刷㈱ [現 TOPPAN ホールディングス㈱] 入社 2019年 4月 同社執行役員エレクトロニクス事業本部オルタス事業部長 2020年 4月 同社執行役員技術戦略室長 兼 事業開発本部長 2020年 6月 当社社外取締役 (現任) 2021年 4月 凸版印刷㈱ [現 TOPPANホールディングス㈱] 常務執行役員技術戦略室長 兼 事業開発本部長 2022年 4月 同社常務執行役員技術戦略室長 兼 事業開発本部長 兼 知的財産本部担当 2023年 10月 TOPPAN ホールディングス㈱常務執行役員 技術戦略室長 兼 事業開発本部長 兼 知的財産本部担当 (現任)	TOPPAN ホールディングス㈱ 常務執行役員 技術戦略室長 兼 事業開発本部長 兼 知的財産本部担当 TOPPAN ㈱ 常務執行役員技術戦略室長 兼 事業開発本部長 兼 知的財産本部担当	13回 /13回 (100%)	—

目次

マネジメント

特集

経営情報

- ▶ TOMOEGAWA 会社概要
- ▶ TOMOEGAWAの役員体制
- ▶ TOMOEGAWA の沿革
- ▶ データサマリー

E 環境

S 社会

G ガバナンス

その他

取締役（監査等委員）

（2025年 7月 1日現在）

取締役 （監査等委員）	氏名	地位・担当	主な経歴	重要な兼務など	取締役会 出席回数	監査等委員 会出席回数	指名・報酬 諮問委員会 出席回数	所有株式数 （2025年 3月 31日現在）
	おおむら のり子 大室 のり子	取締役 監査等委員（委員長）	1987年 4月 都築電気工業㈱〔現都築電気㈱〕入社 1993年 10月 監査法人トーマツ 〔現有限責任監査法人トーマツ〕入所 1998年 4月 公認会計士登録 2018年 4月 当社入社 2019年 7月 日彩控股有限公司董事 2024年 6月 当社取締役（監査等委員）（現任）	—	10回 / 10回* （100%）	14回 / 14回* （100%）	2回 / 2回* （100%）	—
	さめじま まさひろ 鮫島 正洋	取締役 監査等委員 社外 独立	1985年 4月 藤倉電線㈱〔現㈱フジクラ〕入社 1992年 3月 日本アイ・ビー・エム㈱入社 1992年 3月 弁理士登録 1999年 4月 弁護士登録 2000年 3月 松尾総合法律事務所 〔現弁護士法人松尾総合法律事務所〕入所 2004年 7月 内田・鮫島法律事務所〔現弁護士法人内田・鮫島 法律事務所〕代表パートナー（現任） 2005年 6月 当社社外監査役 2016年 6月 当社社外取締役（監査等委員）（現任）	弁護士法人内田・鮫島法律事務所 代表パートナー	13回 / 13回 （100%）	19回 / 19回 （100%）	3回 / 3回 （100%）	3,800 株
	すずき けんいちろう 鈴木 健一郎	取締役 監査等委員 社外 独立	2000年 4月 日本郵船㈱入社 2000年 11月 鈴与㈱取締役 2013年 4月 鈴与㈱専務取締役 2015年 6月 当社社外監査役 2015年 11月 鈴与㈱代表取締役社長（現任） 2016年 6月 当社社外取締役（監査等委員）（現任）	鈴与㈱代表取締役社長 ㈱エスパルス代表取締役会長 清水埠頭㈱代表取締役社長 鈴与商事㈱取締役 他	13回 / 13回 （100%）	18回 / 19回 （94%）	3回 / 3回 （100%）	—

※取締役（監査等委員）大室のり子氏は、2024 年 6 月 26 日開催の第 165 回定時株主総会において、新たに取締役（監査等委員）に選任されましたので、就任後に開催された取締役会、各委員会の出席状況を記載しています。

執行役員

（2025年 7月 1日現在）

 かわしま ひろし 川島 浩志 上席執行役員 新巴川加工㈱ 代表取締役	 なかもと わたる 中本 亘 執行役員 iCas カンパニー 副カンパニー長 兼 企画室長	 くろこし つとむ 黒越 努 執行役員 iCas カンパニー 電子材料事業部長	 もりもと じゅん 森本 純 執行役員 パウダーテクノロジー カンパニー長 兼 画像材料事業部長	 ますくら だいすけ 増倉 大介 執行役員 人事統括室長	 は し けいいちろう 土師 圭一朗 執行役員 iCasカンパニー ファイバーマテリアル 事業部長	 こばやし つねひろ 小林 恒洋 執行役員 業務本部長 兼 巴川物流サービス㈱ 代表取締役
---	--	---	--	--	---	---

目次

マネジメント

特集

経営情報

▶ TOMOEGAWA 会社概要

▶ TOMOEGAWAの役員体制

▶ TOMOEGAWAの沿革

▶ データサマリー

E 環境

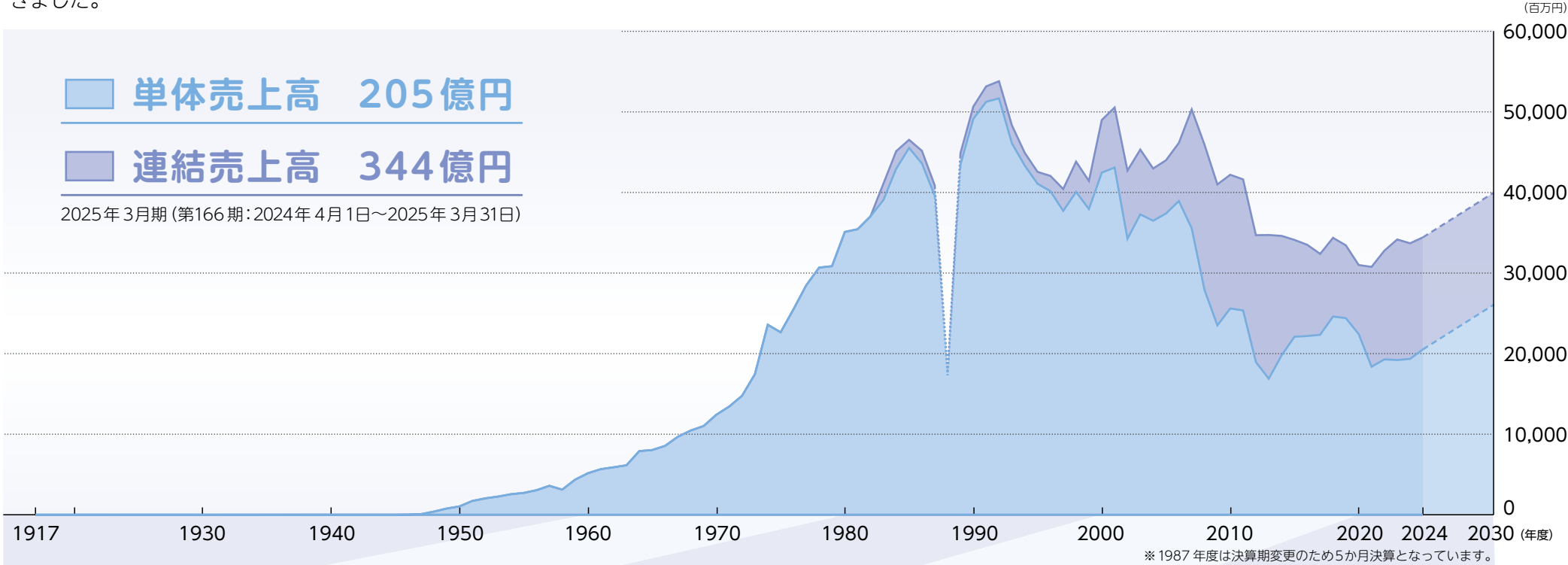
S 社会

G ガバナンス

その他

TOMOEGAWA の沿革

1914 年（大正 3 年）、「電気通信用紙（さん孔紙）」と「電気絶縁紙」の国産化というニーズに応えるため、産業用特殊紙のパイオニアとしての道を歩み出して 111 年。創業以来培ってきた「電気絶縁材料技術」を活かした特殊紙製品から、時代の最先端分野の高機能性材料に至るまで、「抄紙、塗工、粘接着、粉体」技術に磨きを掛けてきました。



1910 年代～ 特殊紙時代	1960 年代～ 情報記録媒体時代	1980 年代～ エレクトロニクス時代	2000 年代～ FPD時代	近年～ 新しい時代へ「IoT」の進化
電気絶縁材料の国内パイオニア  当社の電気絶縁紙を用いた電線ケーブル (1930 年頃) 1900 年初頭、井上源三郎は電気絶縁紙の国産化の志を抱き、わずか一片のドイツ製見本を手掛かりに研究開発に着手。第一次世界大戦の勃発で国産化の要望が高まる中、1914 年に巴川製紙所を創業、電気絶縁紙の国産化と量産化を達成します。その後、1960 年代の送電網の拡張や 70 年代の高圧送電化といった、日本の急速な送電網の構築に大きく貢献していくことになります。	オートメーション化 (OA化) 時代の先陣  ファクシミリ用 静電記録紙とトナー 電気をコントロールする卓越した技術力を活かした電子写真紙の開発を経て、1960 年代にトナーの開発に着手。1965 年、最初の製品となる製版用トナーを市場に投入、その後複写機用トナーの開発に注力。1973 年に市場参入し、今日のトナー専業メーカーとして世界 No.1 の地位に至るグローバルな供給体制を築きました。一方、磁気記録媒体のリーディングカンパニーとして、切符、定期券、プリペイドカードなどを次々と上市し、豊かな暮らしに貢献してきました。	世界に躍進する TOMOEGAWA テクノロジー  エレクトロニクス業界を支える 高機能な電子部品材料 当社は、1977 年に偏光フィルムのクリーン粘着加工事業に参入後、新たに立ち上げたクリーンコーティング・ラミネート技術の電子材料分野への応用展開を図りました。電気絶縁紙で長年培った電気絶縁材料技術を活かし、IC チップ内部で使用する電子部材「リードフレーム固定用テープ」を 1984 年、独自に開発。その優れた技術力に裏づけされた信頼性の高い製品は、世界の IC メーカーから指定商品として位置付けられ、国際規格のベースになっています。	粘着・接着技術の開花  フラットパネル ディスプレイ用 光学フィルム 当社は、紙から「高機能性材料」へと事業内容をシフトし、塗工技術と粘着・接着加工技術に磨きをかけ、液晶およびプラズマディスプレイ向けなど時代のニーズに応える数々の「ディスプレイ部材」を生み出してきました。反射防止、眩しさ防止、UV カット用やタッチパネル用など、幅広いニーズに対応することに加え、潜在的ニーズを汲み取って自ら提案するマーケティング力の強化に取り組み、今日も時代と共に歩み続けています。	電子部品の誤作動防止ソリューション  iCas GREEN CHIP 5G や先進運転支援システムの普及、DX の推進により、多くの電子機器は小型化、軽量化、ハイパワー化（高電圧・大電流・高周波）が求められています。当社は「熱・電気・電磁波」をコントロールする iCas® ブランド製品を拡充し、電子部品の故障・誤作動の防止に貢献します。また、グリーンチップ® ブランドの製品開発を進め、「環境」にも更に配慮していきます。

データサマリー

目次

マネジメント

特集

経営情報

- ▶ TOMOEGAWA 会社概要
- ▶ TOMOEGAWAの役員体制
- ▶ TOMOEGAWA の沿革
- ▶ データサマリー

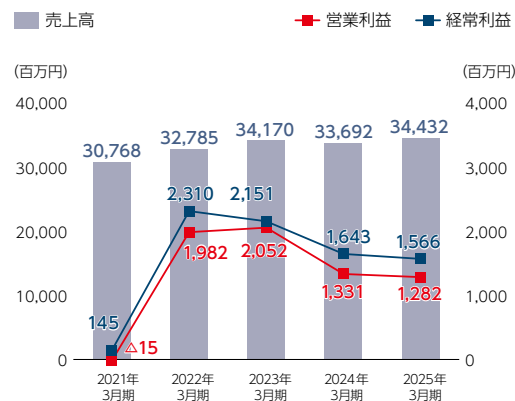
E 環境

S 社会

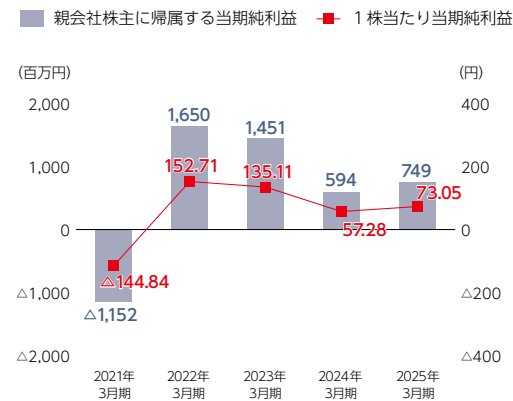
G ガバナンス

その他

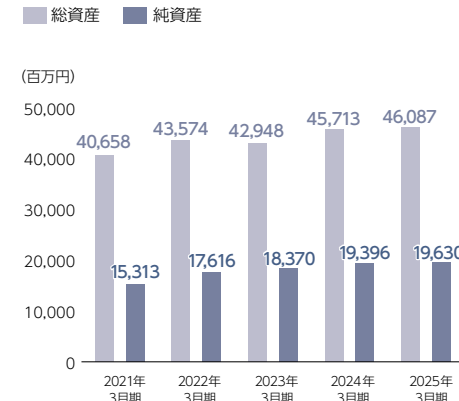
売上高 / 営業利益 / 経常利益



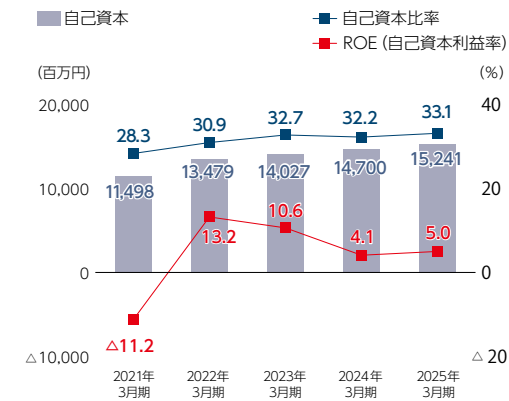
親会社株主に帰属する当期純利益 / 1株当たり当期純利益



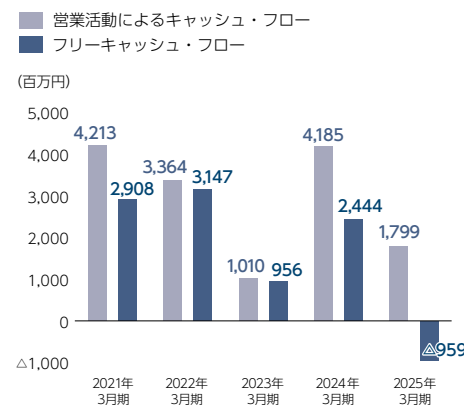
総資産 / 純資産



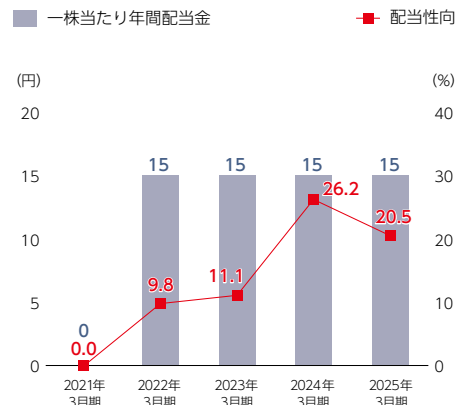
自己資本 / 自己資本比率 / ROE (自己資本利益率)



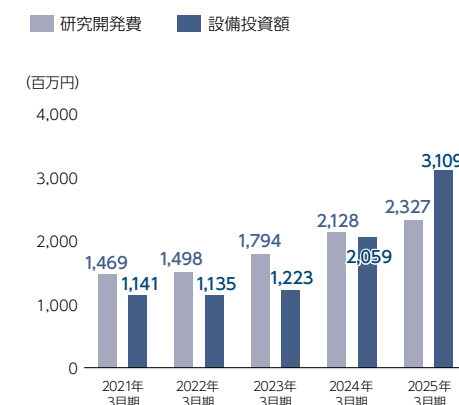
営業活動によるキャッシュ・フロー / フリーキャッシュ・フロー



一株当たり年間配当金 / 配当性向 (連結ベース)



研究開発費 / 設備投資額



期末従業員数 (連結ベース)

